

開かれたがん治療の新しい選択肢 心と体にやさしい重粒子線がん治療

サガハイマツト・医用原子力財団
連携フォーラム

講演会ガイドブック

日時 平成26年2月23日(日)
会場 佐賀市文化会館 大ホール

■主催

公益財団法人 佐賀国際重粒子線がん治療財団
公益財団法人 医用原子力技術研究振興財団
株式会社 サガテレビ

■後援

文部科学省 厚生労働省 内閣府原子力委員会 放射線医学総合研究所
国立がん研究センター 日本医学放射線学会 日本放射線腫瘍学会
がん研究会 日本対がん協会 日本アイソトープ協会
日本原子力産業協会 がん患者団体支援機構
佐賀県 佐賀市 鳥栖市 佐賀県医師会 佐賀大学医学部附属病院
佐賀県医療センター好生館 嬉野医療センター 唐津赤十字病院
佐賀県商工会議所連合会 佐賀県商工会連合会 佐賀県法人会連合会
佐賀県生命保険協会 佐賀新聞社 西日本新聞社

開催趣意書

九州で初めて、重粒子線によるがん治療をスタートした九州国際重粒子線がん治療センター (SAGA HIMAT) を運営する「佐賀国際重粒子線がん治療財団」と原子力の技術を用いて行われる粒子線等によるがんをはじめとする各種疾病の診断・治療に関して、その利用研究の推進と国民への啓蒙普及、関係組織間の連絡調整、また、治療実施のための調査・研究等を行っている「医用原子力技術研究振興財団」が共同で開催する初の連携フォーラムです。

佐賀県内はもとより、国内外にむけて、重粒子線によるがん治療を通じて、安心、安全な医療を提供し、医療・福祉の向上とがん治療の進歩・発展を図る「九州国際重粒子線がん治療センター」。がん治療の選択肢が広がり、患者が最先端のがん治療を受ける可能性を広げました。ここで行われるがんの新しい治療方法は、患者や家族に未来への希望をもたせ、命をそして尊厳を守る希望の光ともいえます。

今回は、「開かれたがん治療の新しい選択肢」をテーマに、重粒子線によるがん治療が多くの方の興味・関心・理解を得ていくために、また、放射線利用技術が診断・治療等の様々な医療の現場で活用され役立っていることを広く多くの方にお伝えするため、ふたつの財団が連携してフォーラムを開催します。





公益財団法人 佐賀国際重粒子線がん治療財団

理事長 **十時 忠秀**

九州の産学官が協力して進めてきたプロジェクトが実を結び、平成 25 年 5 月、九州初の重粒子線がん治療施設である九州国際重粒子線がん治療センター（愛称：サガハイマツト）を開設しました。これまでに前立腺、頭頸部、骨軟部の治療を開始し、本年 3 月から、肺、肝臓、すい臓も治療できるようになる予定です。計画では 1 年目の治療患者数を 200 人としていましたが、予約数は既にそれを超えました。それだけ多くの方々がこの施設と治療法に大きな期待を寄せられていると考え、改めて身が引き締まる思いです。全てのがんをサガハイマツトで治療すべきだとは思っていませんが、九州の患者さんにとってこれまで遠くに行かなければ受けられなかった重粒子線がん治療が身近で受けられるようになったことで、がん治療の新しい選択肢が一つ増えたのだと考えていただければ幸いです。心と体にやさしい治療を提供し、患者さん中心の医療で、世界に誇るがん治療施設を目指していきたいと思います。

プロフィール

1968 年九州大学医学部卒。82 年に佐賀医科大学（現佐賀大学医学部）麻酔科教授となり、佐賀大学医学部附属病院長などを経て 2008 年から佐賀県医療統括監として粒子線がん治療施設のプロジェクトに携わる。10 年 2 月公益財団法人佐賀国際重粒子線がん治療財団理事長。同年 4 月地方独立行政法人佐賀県立病院好生館理事長。



公益財団法人 医用原子力技術研究振興財団

副理事長 **垣添 忠生**

プロフィール

生年月日：1941年4月10日 出生地：大阪

1967年東京大学医学部医学科卒業。同年東京大学附属病院で研修し、都立豊島病院、医療法人藤間病院外科に勤務後、1972年東京大学医学部泌尿器科文部教官助手。この頃から膀胱がんの基礎研究に携わり、大学の勤務終了後、夜国立がんセンター研究所に通って研究を続ける。1975年国立がんセンター病院泌尿器科に勤務し、1987年同病院手術部長、第一病棟部長、副院長を経て、1992年1月に病院長、同年7月に中央病院長、2002年4月総長に就任し、2007年4月国立がんセンター名誉総長、財団法人日本対がん協会会長に就任。聖路加看護大学大学院特任教授を務める。専門は泌尿器科学だが、膀胱発がん、前立腺発がんについては今も強い関心をもっている。立場上、がんの診断、治療、予防に幅広く関わり、全がんに目配りしている。がん予防、がん検診、緩和医療に対する関心も強い。国立がんセンター田宮賞、高松宮妃癌研究基金学術賞、日本医師会医学賞、瑞宝重光章などを受賞。

主な著書：発がんからみた膀胱がんの臨床(メディカル・ビュー社)、がんと人間(共著 岩波新書)、患者さんと家族のための がんの最新医療(岩波書店)、前立腺がんで死なないうために(読売新聞社)、妻を看取る日(新潮社)、悲しみの中にあるあなたへの処方箋(新潮社)、がんと人生(中央公論新社)など。

プログラム

サガハイマツト・医用原子力財団 連携フォーラム

開かれたがん治療の新しい選択肢 心と体にやさしい重粒子線がん治療

日時 平成26年2月23日(日)
会場 佐賀市文化会館 大ホール

13:00 - 13:05	開会挨拶	公益財団法人医用原子力技術研究振興財団 副理事長	垣添 忠生
13:05 - 13:10	サガハイマツト 近況報告	公益財団法人佐賀国際重粒子線がん治療財団 理事長	十時 忠秀

第1部

13:10 - 14:00	基調講演『がんと日本人～放射線を知る～』	講師 東京大学医学部附属病院 放射線科准教授	中川 恵一氏
14:05 - 14:45	パネルディスカッション「開かれたがん治療の新しい選択肢」		
14:05 - 14:15	『重粒子線によるがん治療』解説	公益財団法人医用原子力技術研究振興財団 常務理事	辻井 博彦
14:15 - 14:45	『ディスカッション』		
	パネリスト		
		東京大学医学部附属病院 放射線科准教授	中川 恵一氏
		公益財団法人佐賀国際重粒子線がん治療財団 理事長	十時 忠秀
		公益財団法人医用原子力技術研究振興財団 常務理事	辻井 博彦
		進行 株式会社サガテレビ	内田 信子
14:45 - 14:55	《休憩》		

第2部

14:55 - 15:55	特別講演 『いつもチャレンジ精神で』	講師	草野 仁氏
15:55 - 16:00	閉会挨拶	株式会社サガテレビ 代表取締役社長	泉 俊彦



基調講演

『**がんと日本人 ～放射線を知る～**』

講師 **中川 恵一氏**

東京大学医学部附属病院 放射線科准教授

プロフィール

1960年、東京都生まれ。85年、東京大学医学部医学科卒業、同医学部放射線医学教室入局。89年、スイス Paul Sherrer Institute へ客員研究員として留学。同年、社会保険中央総合病院放射線科へ。93年、東大医学部放射線医学教室助手を務めた後、96年、同専任講師、2002年、同准教授。03年、同附属病院緩和ケア診療部長（兼任）となる。現在、福島県飯館村を中心とした原発事故被災者の支援を行うなど、活動している。

主な著書に『緩和医療のすすめ』『ビジュアル版 がんの教科書』『がん！放射線治療のススメ』『がんのひみつ』『放射線医が語る 被ばくと発がんの真実』など

パネルディスカッション

『開かれたがん治療の新しい選択肢』

パネリスト



東京大学医学部附属病院 放射線科准教授

中川 恵一氏

医用原子力技術研究振興財団 常務理事

辻井 博彦

放射線医学総合研究所フェロー。(公財)医用原子力技術研究振興財団常務理事。
粒子線がん相談クリニック院長。

略歴:

1968年 北大医学部卒
1972年 米国St Vincent Hospital レジデント
1974年 北大医学部放射線科(在職中に米国とスイスに留学)
1989年 筑波大学教授・陽子線医学利用研究センター長
1994年 放医研・重粒子医科学センター病院長
2008年 同理事
2005年 高松宮妃癌研究基金学術賞
2006年 国際粒子線治療研究会会長
2013年 日本放射線腫瘍学会特別功労賞(Gold Medal)



佐賀国際重粒子線がん治療財団 理事長

十時 忠秀

進行

サガテレビ

内田 信子





特別講演

『いつもチャレンジ精神で』

講師 **草野 仁氏**

テレビキャスター

プロフィール

1944年、満州・新京生まれ。長崎県島原市育ち。

東京大学を卒業後、NHKへ入社し、アナウンサーの道へ。

オリンピックをはじめとした、スポーツの実況中継や、「ニュースセンター9時」、「ニュースワイド」などのニュースキャスターを務めた。

1985年にNHK退社後は、「世界ふしぎ発見！」(TBS)の司会をはじめとし、生放送情報番組「THEワイド」(日本テレビ系、平成5～19年)を担当したほか、「主治医が見つかる診療所」(テレビ東京系)など、フリーのTVキャスターとして活躍中。

バラエティ番組にも出演し、強靱な肉体とユーモア溢れる一面を見せ、活動の場を広げている。その物腰の柔らかさ、知識の豊富さ、磨かれた話術で、老若男女から人気を集めている。

講演では、放送人としての47年のキャリアで体験してきた、ユニークなエピソードを中心に、チャレンジ精神をもって活動してきた経験を語る。実直で、温かい草野氏の人柄を間近に感じることができる講演会は、好評を博している。



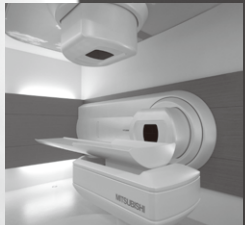
家庭から宇宙まで、エコチェンジ。

MITSUBISHI
三菱電機
Changes for the Better

変える。 三菱電機

放射線治療の最先端、粒子線照射。
体内奥の病巣のみをピンポイントで捉える技術が、
次世代の医療を変える。

メスを使わないため痛みが少なく、生活の質を維持しやすいとされる放射線治療。その中でも近年特に注目されているのが、粒子線照射による方法です。それは、体内奥の病巣へピンポイントで粒子を照射することにより、周囲の正常な細胞への影響を抑えられる治療方法です。三菱電機は、粒子を秒速20万キロ（光速の約7割）まで加速させるシンクロトロンや、制御に関する多くのノウハウを基に粒子線治療装置の業界をリード。これからも先端技術を駆使し、新しい医療機器の開発に貢献していきます。



粒子線治療装置（照射室）

三菱電機は「グローバル環境先進企業」へ

No. 82

粒子線照射技術

詳しい情報はこちらからご覧いただけます。▶



◎この広告のビジュアルは、合成によるイメージです。 ◎この広告についてのお問い合わせは、adv.webmaster@rf.MitsubishiElectric.co.jpまたはFAX.03-3218-2321（宣伝担当）まで。

三菱電機株式会社

千代田テクノルは 放射線

を から
測る 守る
で
治す

放射線は危険な性質を持っている反面、
有効に利用すれば人類に大きなメリットを与えてくれる無限の可能性をそなえています。
千代田テクノルは、医療・原子力・産業・放射線測定などの各分野において、
放射線を安全に有効利用するための機器やサービスをトータルに提供。
放射線の「利用」と「防護」の双方において、お客様のあらゆるニーズにきめ細かく対応しています。

株式会社 **千代田テクノル**

〒113-8681 東京都文京区湯島 1-7-12 千代田御茶の水ビル
<http://www.c-technol.co.jp>

千代田テクノル



JQA-QM8513
Tokyo・Osaka
Kashiwazaki Karita

放射線管理のベストパートナー

富士電機は、放射線計測に関する豊富な知識と技術で、放射線利用施設の計画立案、設計・施工、運用、メンテナンスに至るまで、お客様を一貫してサポートします。

取扱製品

放射線管理システム

放射線モニタリングシステム

R I 排水管理システム

出入管理システム

非密封R I 管理システム

従事者管理システム

インターロックシステム



測定器

各種サーベイメータ

個人線量計 / 環境線量計

モニタリングポスト

ホールボディカウンタ

体表面モニタ

食品放射能検査システム

その他



富士電機株式会社 産業インフラ事業本部 計測制御システム事業部 放射線システム部

〒191-8502 東京都日野市富士町1番地 TEL 042-585-6024

<http://www.fujielectric.co.jp/> Email fric-info@fujielectric.co.jp

TOSHIBA
Leading Innovation >>>



私たちはエコな暮らしと
エコな社会をつくっていきます。

商品で、技術で、モノづくりで。
エコな暮らしのスタイルと、エコな社会のスタイルを
創造していく。それが東芝のecoスタイルです。



この星のエネルギーとエコロジーのために。東芝

<http://www.toshiba.co.jp/env/prince/>

Le Petit Prince™ Succession Antoine de Saint-Exupéry Licensed by 株式会社 Le Petit Prince™ 星の王子さま™



九州電力は、
「エネルギー・環境の出前授業」など、
さまざまな活動を通して、
未来を担う子どもたちを
応援しています。

「エネルギー・環境の出前授業」に関するお申し込み・お問い合わせ
九州電力(株) 佐賀支社広報グループ TEL 0952-23-1123
[受付時間] 月曜日～金曜日 9:00～17:00 (土日祝日および年末年始を除く)

 **九州電力**
ずっと先まで、明るくしたい。



技術、^な生る、^め愛づる

呼吸同期システム Respiratory Gating System

AZ-733V

本装置は呼吸センサーを介して呼吸時の体表の動きを捉え呼吸波形として表示します。得られた呼吸波形により呼吸位相に同期したゲート信号を出力します。高精度外部放射線治療時代において体幹部の呼吸性移動を考慮した治療が要求されています。本装置は外部放射線治療装置と組み合わせ自由呼吸下や呼吸停止下での呼吸同期照射を高次元で可能にします。また本装置とCT装置との組み合わせは治療計画における鮮明な4DCT画像を作成します。



Wave Deck and PC



Sensor Port



Load Cell

安西メディカル株式会社

〒141-0033 東京都品川区西品川3-6-25
Tel.03-3779-1611 Fax.03-3779-6606

www.anzai-med.co.jp

ご協賛団体一覧

ご協力ありがとうございます。

本フォーラムの開催に際しまして、ご寄付・ご協賛をいただきました
団体・企業様に厚く御礼申し上げます。

寄付・協賛団体

富士フイルムRIファーマ株式会社
公益社団法人日本アイソトープ協会
エーザイ株式会社

三菱電機株式会社
株式会社千代田テクノロ
富士電機株式会社
株式会社東芝
安西メディカル株式会社

(敬称略 順不同)



黄色い葉は痛くない、切らない、簡単な3つを表しています。

緑の葉はやさしい治療を表しています。

「Quality of life」というコピーは、

放射線治療がQOL (Quality of life) の向上に大きく寄与し、
がん治療の新しい時代を切り拓いて行くという決意を表しています。

公益財団法人 佐賀国際重粒子線がん治療財団
公益財団法人 医用原子力技術研究振興財団
株式会社 サガテレビ